

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

<http://www.mito.jrc.or.jp>

2024.09
Vol.46

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

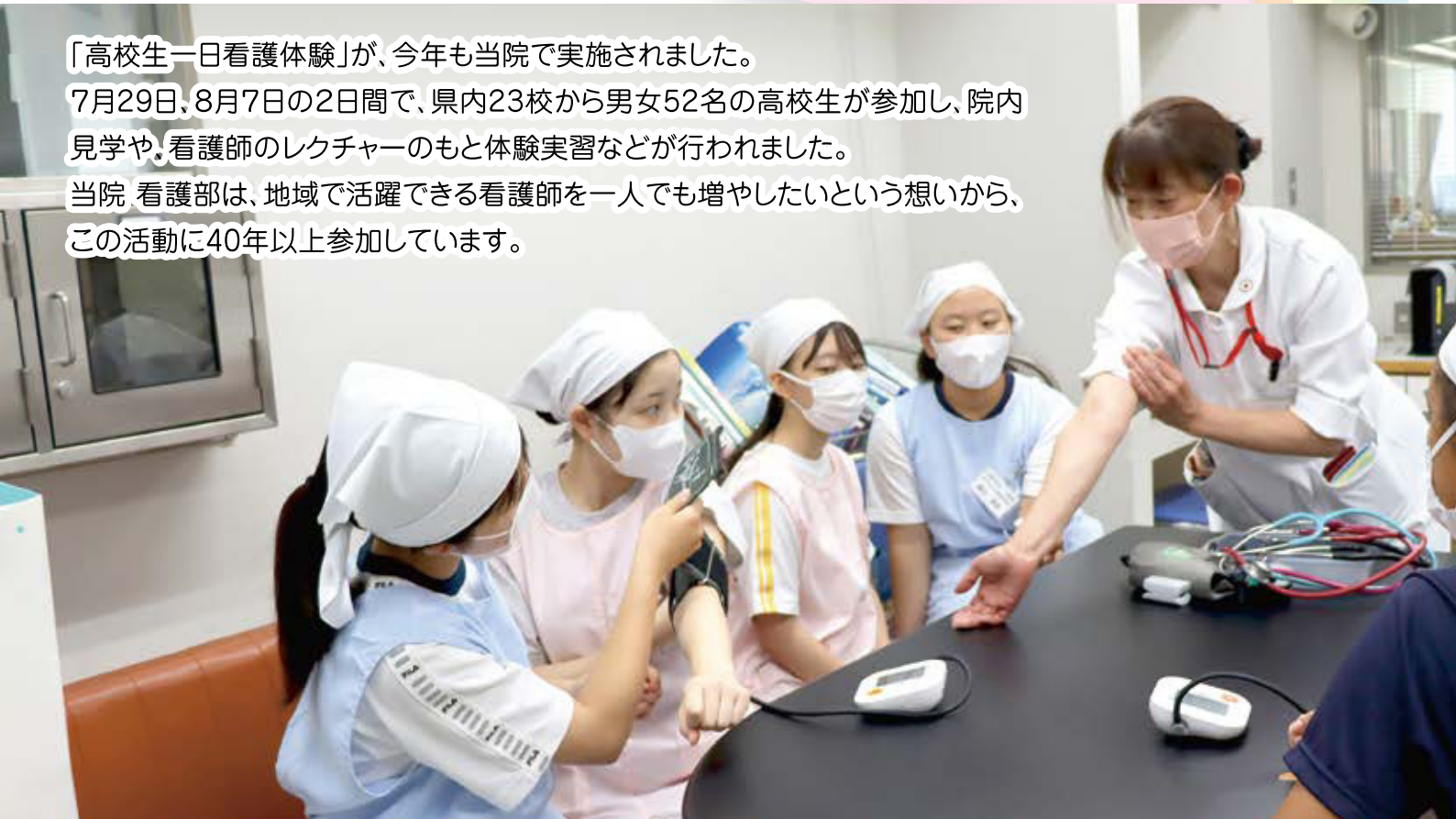
虹



「高校生一日看護体験」が、今年も当院で実施されました。

7月29日、8月7日の2日間で、県内23校から男女52名の高校生が参加し、院内見学や、看護師のレクチャーのもと体験実習などが行われました。

当院 看護部は、地域で活躍できる看護師を一人でも増やしたいという想いから、この活動に40年以上参加しています。



P1-3: 専門・認定看護師特集

P3: 水戸日赤ラジオが放送開始します!

P4: 登録医紹介／県警共同ヘリコプター搭乗訓練が行われました

専門看護師・認定看護師 特集

I. 水戸日赤に在籍する専門看護師・認定看護師



老人看護専門看護師



人生の大先輩である高齢者の方々の困りごとが少なくなるように、療養生活や大事な意思決定等をサポートしています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師



嚥下障害のある患者さまの「食べたい」という気持ちに少しでも寄り添えるように、多職種で協力しながら活動しています。

水戸赤十字病院には、専門看護師1名と認定看護師13名が在籍しています。専門看護師・認定看護師は、特定の看護分野において専門性の高い知識と技術を有するスペシャリストであり、質の高い看護を実践することはもちろん、ともに働く看護職員に対する指導・育成や、相談者としての役割も担っています。

【在籍する専門看護師】	老人看護専門看護師	1名		
【在籍する認定看護師】	感染管理認定看護師	2名	皮膚・排泄ケア認定看護師	2名
	緩和ケア認定看護師	1名	がん化学療法看護認定看護師	1名
	摂食・嚥下障害看護認定看護師	2名	糖尿病看護認定看護師	1名
	慢性呼吸器疾患看護認定看護師	1名	認知症看護認定看護師	1名
	がん放射線療法看護認定看護師	1名	乳がん看護認定看護師	1名

II. 水戸日赤での専門看護師・認定看護師の業務

①看護現場における業務

専門性の高い知識と技術によって、患者さまやそのご家族へより質の高い看護を実践し、充実したケア・サポートを提供します。

②勉強会の開催

院内で希望者を募り、専門知識の共有を目的に、定期的に勉強会を実施しています。

③月例会議の実施

院内の専門看護師・認定看護師が集まり、情報交換や課題の共有等を行っています。



▲月例会議の様子

Ⅲ. 看護師の資格取得サポート制度

当院では、専門看護師・認定看護師の資格の取得を目指す職員をサポートするため、奨学金制度を設けており、入学金や授業料、その他諸経費に係る支援を行っています。

資格取得の研修期間中は勤務とみなされ、各専門教育機関での修学中も給与が支給されます。

令和6年6月から、新たに診療看護師の資格取得も、サポートの対象となりました。

Ⅳ. 専門職である看護師と専門看護師・認定看護師等との連携について

看護師は専門職として心身及び社会的課題のある人々に真摯に向き合い、回復過程に留まらず、最期を迎える人々に寄り添う伴走者です。ナイチンゲール伝記を読み、感動した経験は私だけではないでしょう。その中で看護の専門性を見つけるとしたら、傷病者とその環境をアセスメントし手当を続けた姿であり、その行為自体が職業として持つ専門性と言えるでしょう。

さて、専門あるいは認定看護師等の専門性はどういう姿でしょうか。何れにしても組織に利益(経営的視点)をもたらすことが求められます。例えば「看護コンサルテーション」という仕組みにより、ケアの質が上がり、看護師同志がリスペクトされ、ジェネラリストナースの成長につながるがあります。深刻な人材不足からの脱却は、人への投資と組織の活性化を図る工夫が重要と考えます。



公益社団法人茨城県看護協会
会長 白川 洋子

水戸日赤ラジオが放送開始します!



“水戸赤十字病院の今日もおだいじに”
毎週金曜日 11:20から 放送

令和6年10月から、LuckyFM茨城放送で、当院のラジオ番組『水戸赤十字病院の今日もおだいじに』の放送が始まります。

当番組では、院内のスタッフたちが病院を飛び出して、専門的な知識を生かし、医療にかかわるちょっと知りたい耳寄り情報を、毎回異なるテーマで皆さまにお届けしていきます。お楽しみに!



《 10月の放送予定 》

放送日	テーマ	出演
10月4日	ダビンチ(手術支援ロボット)	院長
10月11日	乳がん	外科医
10月18日	ジェネリック医薬品	薬剤師
10月25日	食中毒	管理栄養士

◀パーソナリティは、昨年に引き続き菊地真衣アナウンサーです!

水戸赤十字病院登録医紹介

当院の基本方針である「地域に愛され、信頼される病院」「安全かつ良質な医療の提供」を推進するための心強いパートナーとなる登録医の先生をご紹介します。

クエストリウマチ膠原病内科クリニック

私は、筑波大学の膠原病リウマチアレルギー内科に所属し、その再建に協力してきました。筑波大学の教員としての業務と兼務する形で、2012年には(株)日立製作所ひたちなか総合病院において「リウマチ膠原病センター」を開設、センター長として全国的に有数のリウマチ膠原病診療施設に育て上げてきました。

それぞれ約10年間にわたり、診療に加えて、学術的、教育的立場で勤務してきましたが、私ごとながら、論語に言う「不惑・知命」の年齢となり、自然と広く多くの患者さまに私ならではの繊細な医療を届けることこそが天与の使命と思うようになりました。私の次の10年「NEXT DECADE」は患者さまへの感謝・還元に捧げたいとの思いで発起した次第です。

当院はリウマチ膠原病の専門クリニックとして開設しましたが、リウマチ性疾患・膠原病診療ではハイレベルの「総合診療」が求められるため、必然的に総合診療医としてのスキルが身につけていると自負しています。総合診療の「指導医」としても活動してきましたので、生活習慣病や骨粗鬆症から美容に至るまで、リウマチ膠原病以外の患者さまもご気軽に、遠慮なくご相談ください。

また、ビルテナントでありながら460㎡の診療スペースを確保、生化学分析装置・骨密度測定装置(DXA)など大型の診療機器も多数導入し、受診当日に血液検査結果が確認できるなど総合病院ならではのスタイルはそのままにクリニックとしての快適性も追求しました。

クリニック名の「クエスト」は「探究」という意味です。患者さま中心の医療の「探究」、学問の「探究」、クリニックとしての快適性の「探究」などなど、今後も歩みを止めず「探究」していきます。新たな扉をひらき、医療のその先へ、健康のその先へ、一緒に歩み続けましょう。



院長 林 太智 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	休	●	●	休
14:00~17:30	●	●	●	休	●	●	休

*受付時間は、各回診療時間の30分前まで

住所：水戸市宮町1-2-4MYMビル4F

T E L : 029-233-7722

(完全電話予約制)

診療科：リウマチ科、内科、皮膚科

HPはこちらから!



県警共同ヘリコプター 搭乗訓練が行われました

令和6年9月4日(水)、当院のヘリポートで、茨城県警察本部の協力のもと、ヘリコプターの搭乗訓練を実施しました。医療スタッフは、県警航空隊との連携調整や離発着時の安全管理、搭乗要領などを学び、ヘリコプター搭乗後は、地上の様子を目視で確認しながら水戸市上空などを巡航しました。



「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアします。

ハイリスクでないかたも、
里帰り分娩のかたも、
当院でのお産を歓迎します。



1分アンケートに
ご協力お願いします!

こちらのQRコードを読み取ってご回答いただけます。
病院広報誌「虹」をより良くするために、皆さまのお声をお聞かせください。